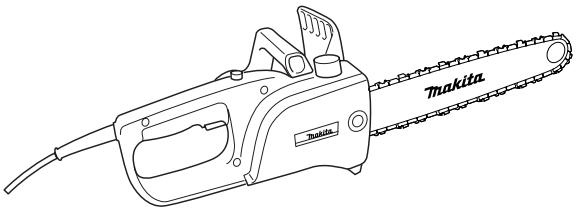
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

300mm チェンソー

⧈ モデル M501



⧈
二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは **300mm チェンソー**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル / 主要機能	M501
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流 100V
電流	7A
周波数	50-60Hz
消費電力	680W
鋸身長（切断有効長さ）	300mm
チェーン刃スピード	6m/s(360m/ 分)
使用チェーン刃	オレゴン 91VG-46E/91PX-46E
長さ	580mm
質量	2.3kg
振動 3 軸合成値	6.0m/s^2

- 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-13 規格に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA［(社) 日本電機工業会］ウェブサイト：(http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html) をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-18

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近付けないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近付けないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で､子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠警告

9. 保護めがねを使用してください。
・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音用保護具を着用してください。
・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。
・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。

13. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・ 使用しない、または修理する場合。
・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。
・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠警告

19.屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20.油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21.損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

＜異常・故障例＞

・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
・ 電源コードに深いキズや変形がある。
・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22.正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23.電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

チェンソー安全上のご注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、チェンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB073-4

⚠警告

1. **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. **チェンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。**
・ 感電のおそれがあります。
3. **使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。**
・ 本機がはね返り、けがの原因となります。
4. **チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。**
・ 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃が外れ、けがの原因になります。
5. **はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。**
・ けがの原因になります。
6. **肩の高さより高い位置で使用しないでください。**
・ けがの原因になります。
7. **ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。**
・ 本機が跳ね返り（キックバック）けがの原因になります。
8. **使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。**
・ けがの原因になります。
9. **使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。**
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. **誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. **〔事業者の方へ〕樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。**

関連法令	労働安全衛生法	第 59 条第 3 項
	安全衛生特別教育規程	第 10 条の 2
	労働安全衛生規則	第 36 条第 8 号の 2

⚠注意

1. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・ 感電のおそれがあります。
2. 使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに保管してください。
・ けがの原因になります。
3. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。
・ 本機が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
4. 作業中は常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履き物は滑りにくいものを着用してください。
・ けがの原因になります。
5. 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。
・ 刃物が石などに当たると、けがの原因になります。
6. 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
・ けがの原因になります。
7. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
・ ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。

注

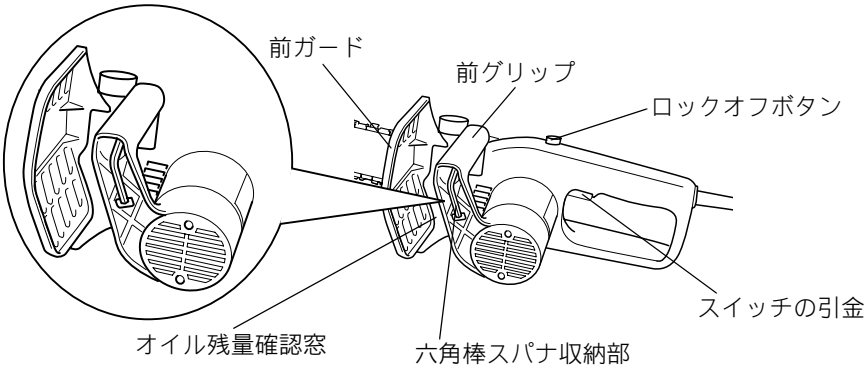
・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

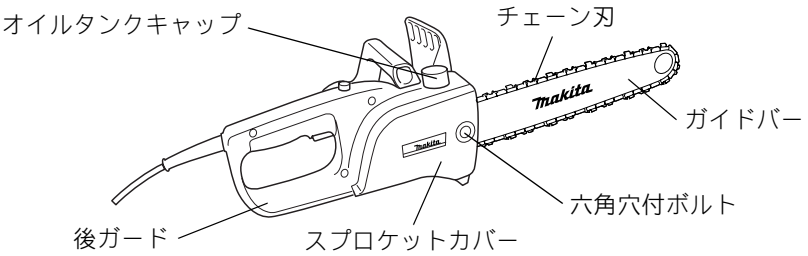
使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm^2	20m	—	—
1.25mm^2	30m	15m	10m
2.0mm^2	50m	30m	20m

・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品





標準付属品

- 六角棒スパナ 5
- オイルベセル（油入 100cc）
- ネジ回し
- ガイドバーケース

別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

・ チェーン刃　91VG-46E
部品番号 A-30019

・ チェーン刃　91PX-46E
部品番号 A-55647

・ チェーンオイル（1L）
部品番号 A-34702

・ ガイドバー
部品番号 165200-0

・ フェイスシールド
部品番号 A-13742

チェーン刃の取り付け・取りはずし方

⚠警告

チェーン刃の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、事故の原因になります。

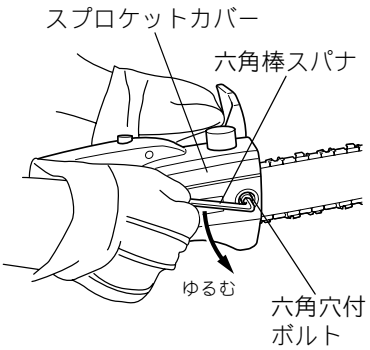
⚠注意

チェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、必ず手袋をはめて行ってください。

・ けがの原因になります。

取りはずし方

・ 六角棒スパナでスプロケットカバーを取り付けている六角穴付ボルトを取りはずしてください。

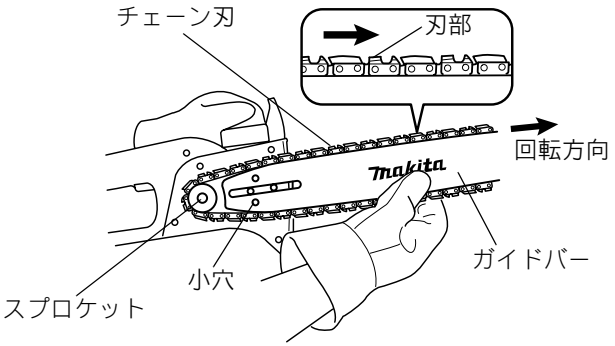


・ スプロケットカバーを取りはずしてください。

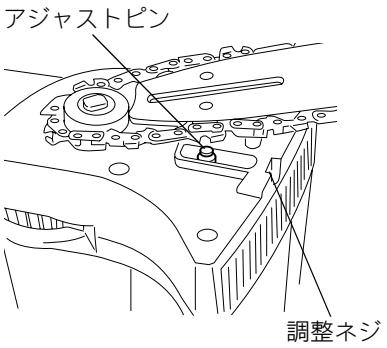
使い方

取り付け方

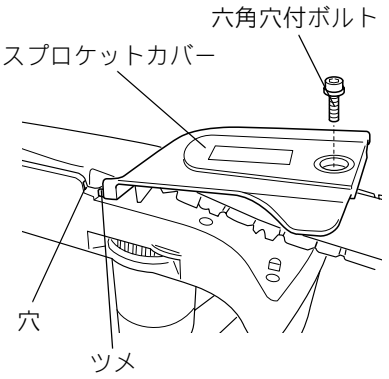
・ チェーン刃をガイドバーの先端に入れ、他端を本機のスプロケット部に入れてください。この際、チェーン刃はイラストの矢印方向に回転しますからチェーン刃の方向をイラストのようにセットしてください。



・ ガイドバーを本機の取り付け面にのせ、ガイドバーの下部の小穴が、本機にはめ込んであるアジャストピンに入るよう、ネジ回しで本機前部より調整ネジを調整してください。

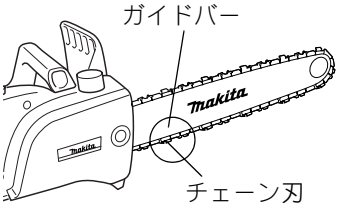


・ スプロケットカバー後部のツメを本機の穴に引っ掛けてから、スプロケットカバーを取り付け、六角穴付ボルトを軽く締め付けてください。

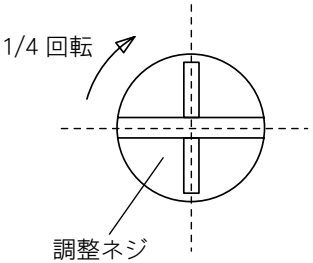


使い方

・ ガイドバー下部のチェーン刃のたるみを「調整ネジ」にてガイドバーに接触（当たる）するまで締め込んでください。

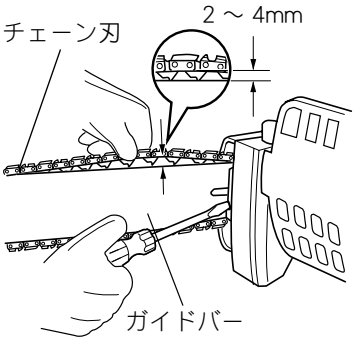


・ ガイドバー先端部を手で軽く持ち上げた状態で、再度接触を確認して、そこから「調整ネジ」を 1/4 回転締め込んでください（右回転）。そして六角穴付ボルトを六角棒スパナにて強く締めつけてください。

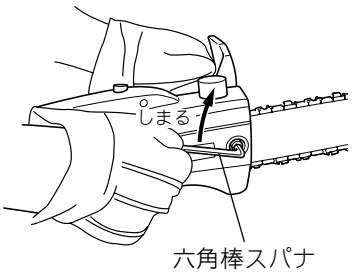


チェーン刃の調整

・ 六角棒スパナで六角穴付ボルトを軽くゆるめてください。
・ ガイドバーの中央部でチェーン刃を持ち上げて本機が浮きあがった時、ガイドバーとチェーン刃との間が、2 ～ 4mm 程度になるように本機の前部にある調整ネジで調整してください。このとき、ガイドバーの先端を軽く持ち上げた状態で調整してください。



・ チェーン刃の調整が終わりましたら、六角棒スパナで六角穴付ボルトを強く締め付けてください。



注

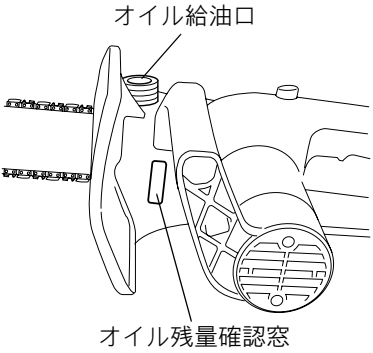
・ チェーン刃が新しい間は伸びがちですので、時々調整してください。
・ チェーン刃の張りすぎは、チェーン刃の切断、ガイドバーの摩耗などの原因になります。
・ 張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
・ チェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、切り屑などのないきれいな場所で行なってください。

使い方

チェーンオイルについて

- チェーンオイルはチェンソーを運転すると自動的に給油されます。
- オイル残量確認窓にてオイルタンク内のチェーンオイル量を確認してください。

- チェーンオイルの補充はオイル給油口のキャップを取りはずして入れてください。容量は約 100mL です。



注

- はじめてお使いになるときは、チェーンオイルをオイルタンクに入れてください。
- チェーンオイルは、当社チェンソー専用オイルまたは市販のチェーンオイルか下記のエンジンオイルをご使用ください。
- 夏期：SAE No.20W-40
- 冬期およびヤニなどの樹脂の多い木：SAE No.10W-30
- ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

使い方

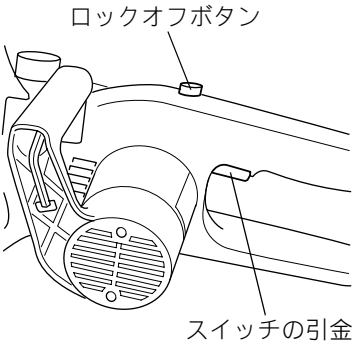
スイッチの操作

⚠警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

・ スイッチはロックオフボタンを押した状態で引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を離すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



注

・ スイッチ操作に際し、ロックオフボタンを押さずにスイッチの引金を強く引かないでください。

使い方

切断方法

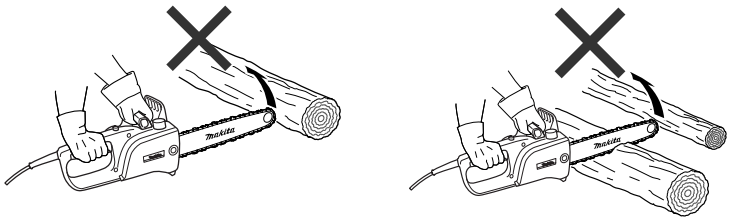
⚠警告

使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。

・ けがの原因になります。

ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。

・ 本機が跳ね返り（キックバック）、けがの原因になります。



⚠注意

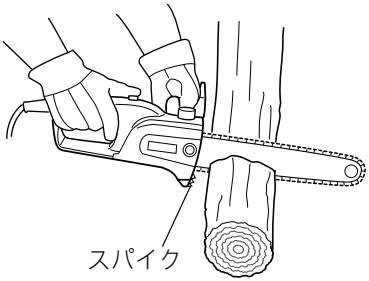
切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。

・ けがの原因になります。

2 台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。

・ 事故の原因になります。

・ チェーン刃を木材より離してスイッチを入れ、チェーンオイルが十分にチェーン刃に付着してから切断作業に入ってください。
・ 本機を木材に当てて、そのまま真下へ押し付けて切断してください。
・ 本機前部のスパイクを木材に当てて切断すると、本機が安定します。



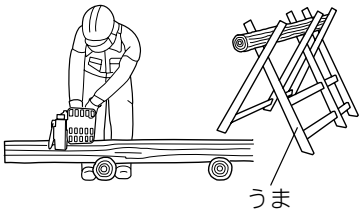
注

・ 本機に無理な力を加えないでください。

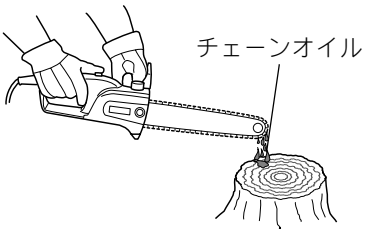
チェンソーによる各種の作業方法

基本的な作業

・ 回り止めやうまなどを用いて、木材が動かないように固定してください。
・ ハンドルを両手でしっかり握り、チェーン刃を木材より離してスイッチを入れてください。ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認してください。



・ ガイバーの中央部付近を木材に当てて、そのまま真下へ本機を押し付けて切断してください。この際、無理に本機に力を入れないでください。

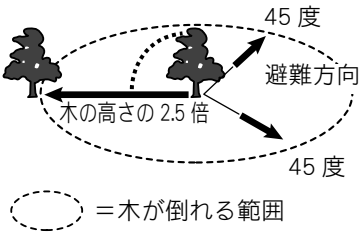


各種の切断作業例

・ 伐木作業（立ち木を倒す作業）や造材作業（倒した木を切断する作業）をするときは、伐木などについての講習を受けたり、お買い求め先に相談して適切な指導を受けてください。

1. 伐木作業（立ち木を倒す作業）

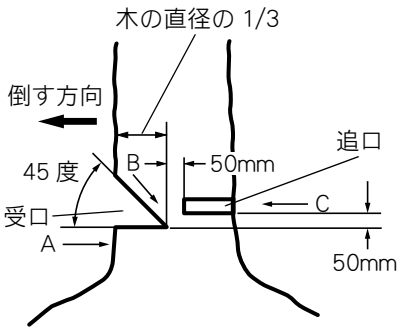
・ 倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考えて倒す方向、避難する方向を決めます。
・ 周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。



使い方

・ 木を倒す方向に、直径の 1/3 程度の切り込みを A､B の順に入れて受口を作ってください。

・ 受口の水平部より約 50mm 上部に、受口の水平部と平行に追口を切り込んでください。



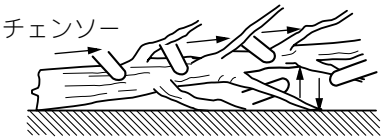
・ 追口の切り込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切り口よりチェンソーを離し、その場にチェンソーを置いて避難してください。

・ 木が所定の方向に倒れそうもない場合やチェーン刃、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したり、チェーン刃、ガイドバーが挟まれないようにしてください。

2. 枝払い作業

・ 倒した木の枝払いは、まず上部、側面の枝を一方向より切り落としてください。

・ 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切り落としてください。

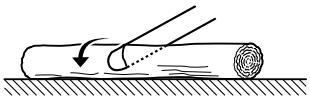


3. 造材作業（倒した木を切断する作業）

・ 丸太の置かれている状態により切断方法が異なります。次のように切断してください。

1）丸太全体が地面に接している場合

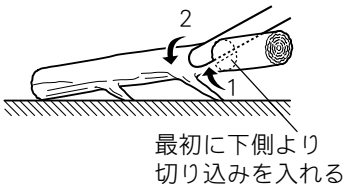
・ 丸太の上部から切り始め、そのまま真っすぐ切り下げてください。切り終わりにチェーン刃が地面に触れないように注意してください。



2）丸太の一端が支持されている場合

・ 最初に丸太の下側より直径の 1/3 まで切り込んでください。

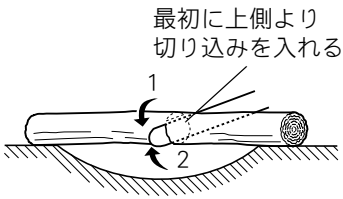
・ 下側から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて上部から切断してください。



3）丸太の両端が支持されている場合

・ 最初に丸太の上部より直径の 1/3 まで切り込んでください。

・ 上部から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて下側から切断してください。



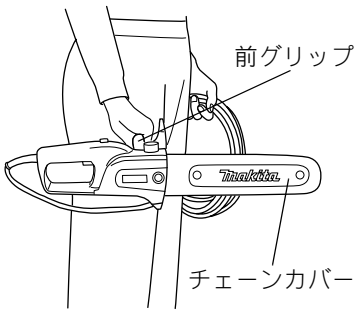
4）斜面で丸太を切断する場合

・ 最初に丸太がころがって落ちないようにクサビや杭などを用いて丸太を支えてください。

・ 山側に立って、1）～ 3）の内の適した方法で作業してください。

チェンソーの持ち運び

・ チェンソーを持ち運ぶときは、チェーンカバーをガイドバーにかぶせ、前グリップを持って運んでください。



保守・点検について

⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠注意

点検・整備の際には必ず手袋をはめて行ってください。

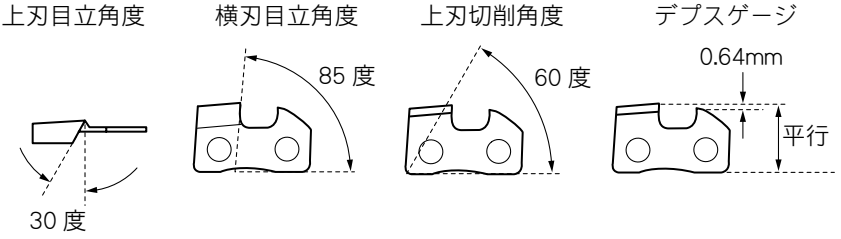
・ チェーン刃が手にふれ、けがの原因になります。

チェーン刃の目立て

⚠警告

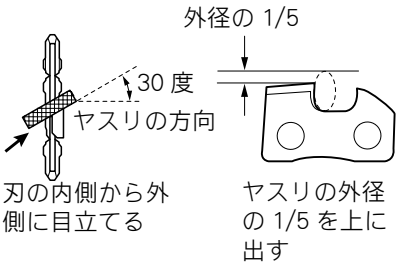
チェーン刃は正しく目立てしてください。

・ 特にデプスゲージの寸法が大きくなり過ぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。

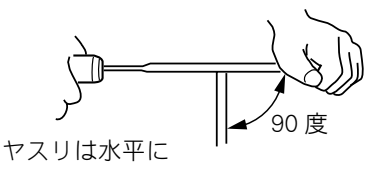


1）上刃および横刃の目立て

・ ガイドバーに対して丸ヤスリを 30 度傾け、丸ヤスリの直径 1/5 が上刃よりでるようにチェーン刃に当ててください。

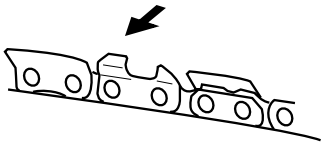


・ 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。

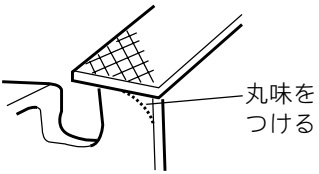


2）デプスゲージの目立て

・ 平ヤスリをデプスゲージに水平に当て目立てしてください。



・ デプスゲージの角に丸みを付けてください。
・ チェーン刃の目立てが終りましたら、オイルに浸して切粉を洗い落としてください。

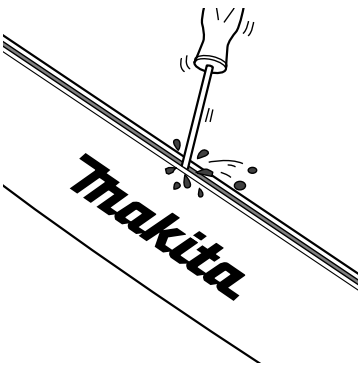


注

・ 刃部の目立てには、外径が 4mm（呼び 5/32”）の目立て専用丸ヤスリを、またデプスゲージの目立てには、目立て専用平ヤスリをご使用ください。

ガイドバーの清掃

・ ご使用中に、切り屑がガイドバーにつまることがあります。切り屑がガイドバーの溝につまりますと、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。



保守・点検について

本機の保管

- スプロケットカバーを取りはずし、本機に付着した切り屑を除去してください。
- チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
- チェーンカバーをガイドバーにかぶせてください。
- オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、保管してください。

本機のお手入れ

- 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

881837F2

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）